

学校評価のねらい

下京中学校の教育目標の達成に向けて、現状の把握と教育活動についての検証(チェック)のために学校評価を行う。評価活動により下京中学校の目指すべき方向を再確認し、多様な教育活動の優先順序を示し、学校・地域・家庭の目指すべき姿の共通理解を図る。

	評価の検討と実施	学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法		
中間	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価部の設置</li> <li>評価計画の作成</li> </ul>			
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケート①(クラマネ)</li> <li>教職員自己目標申告</li> <li>生徒教育相談アンケート</li> <li>アンケート集計分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回学校運営協議会 学校教育方針の説明 (学校関係者評価①)</li> </ul>		
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観アンケートの実施</li> <li>生徒いじめアンケート</li> <li>アンケート集計分析</li> </ul>			
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒キャリアアンケート①</li> <li>保護者アンケートの実施①</li> <li>アンケート集計分析</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、学校HPによる発表①</li> </ul>	
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期教職員評価(自己評価)①</li> <li>アンケート集計分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回学校運営協議会 学校運営協議会による評価の実施 (学校関係者評価②)</li> </ul>		
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析結果検討と改善策の検討</li> </ul>			
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期自己評価の準備</li> <li>生徒キャリアアンケート②</li> <li>教育相談アンケート</li> <li>生徒いじめアンケート</li> <li>アンケート集計分析</li> </ul>			
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートの実施②</li> <li>後期教職員評価(自己評価)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回学校運営協議会 学校運営協議会による評価の実施 (学校関係者評価③)</li> <li>*組織総括</li> <li>*次年度方針確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、学校HPによる発表②</li> </ul>	
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析作業</li> <li>改善策の検討と次年度組織編成準備</li> </ul>			
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケート②(クラマネ)</li> </ul>			
	年間	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒キャリアアンケート③</li> </ul>		
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析結果検討と改善策の検討</li> <li>次年度改善計画</li> <li>*学校改革推進会議</li> <li>評価引継ぎ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、学校HPによる発表③</li> </ul>



# 平成28年度 学校評価実施報告書

## 2 2回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた)年度末までの取組	(取組結果を検証する)アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善 (アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の充実)	校内研究のテーマに掲げ、教科会やチーム会議を中心に授業改善を図り、学びを深める授業を行う	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている
	家庭学習の習慣化	家庭学習課題を毎日出し、本校独自の手帳を活用した計画的な家庭学習の指導	自分で計画を立てて勉強している
	総合的な学習の時間の充実	探究・伝統文化体験・キャリア・人権の4つの分野での体系的な学習の実践	・探究学習は充実している ・伝統文化体験は充実している (教職員アンケート)
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成① (自他を尊重できる人権教育の充実)	学級・学年活動の中で他を思いやりや協力する態度を身につけるとともに、人権学習を充実させる	子どもは仲間を大切に行動ができている
	「公共の精神」に基づく態度の育成② (規範意識の醸成)	日常生活へのきめ細か目配りを行い、点検活動とタイムリーな指導を行う	子どもはルールや決まり事を守ることができている
健やかな体	自他を大切にできる態度の育成	保健便りを活用した健康増進への啓発活動を行い、SNSの利用についての指導を充実させる	・朝食は毎日食べている ・毎日よく眠れている
	健康教育の充実	目・歯・防煙・薬物乱用防止の健康学活を計画的に行う	視力検査・歯科検診後の受診状況結果
独自の項目	キャリア教育の推進	基礎的・汎用的能力を育成するための生活指導や行事運営・部活動指導を進める	自分から役割や仕事を見つけたり、分担しながら、周囲と力を合わせて行動する



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成29年2月16日
	評価者・組織	学校評価部
アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
「そう思う・どちらかといえばそう思う」が88%	・他教科とチームを編成し、思考ツールを活用しアクティブ・ラーニングを取り入れた授業が展開できた。	・教科の本質的な学びを深めることに重点をおき、問いや対話に重点をおうから授業を展開する。
「よく当てはまる、大体当てはまる」が61%	・家庭学習課題を提出するという基礎的な習慣は身につけているが、依然、十分とはいえず、計画的に学習することができない。	生徒が主体的に取り組めるよう家庭学習課題の内容について吟味し、家庭での学習の定着をより強く進める。
「よくできている・大体できている」が71%、 伝統文化が80%	・総合的な学習の時間では、4つの分野の特色のある取組が充実して展開できた。	・個人研究として進めてきた探究学習を見直し、対話をより重視したグループ単位での探究学習を行う。
「よくできている・大体できている」が96%	・いじめアンケート等も活用し、教職員間で綿密な情報交換を行い。いじめを見逃さず、生徒の心に寄り添った指導ができた。	・クラスマネージメント調査等を活用し、仲間づくりから集団づくりへと意識した学級経営を進める。
「よくできている・大体できている」が88%	・家庭と連携し基本的なルールを守る指導等ができたが、ケータイ・スマホの利用のしかたについては課題が残った。	・生徒の生活背景を理解することに努めとともに毅然とした指導を継続する。 ・ネットモラルについての学習を進め啓発を行う。
朝食はほとんど生徒が食べているが、22%の生徒は「よく眠れていない」と回答	・睡眠時間が十分でない生徒の数は増加しており課題は大きくなった。	・養護教諭や保健教諭が中心となり、睡眠時間の確保についての啓発を進める。
視力低下・目の疾患・う歯・歯周疾患が疑われる生徒の受診率が60%	・視力の低下を防ぐために、目の健康教室等を通して、正しい姿勢についての学習を行った。	・生徒だけでなく家庭に対しても健康についての様々な角度からの啓発学習を進める。
「よくできている・大体できている」が91%	・学級活動や部活動をキャリア教育の視点で見つめ直し、汎用的能力の育成に努めた。	・汎用的能力を育成するために自尊感情の醸成や基本的な生活習慣の確立について改善をさらに進める。



学校名( )		学校関係者評価	
評価日	平成29年2月23日	評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
一年間を通じて落ち着いた雰囲気の中、良い授業が行われていた。	・地域資源をより活用して、学力向上に向けての研究等をより推進する。		
家庭学習の課題を解決するには、家庭の協力が不可欠であるが、十分とはいえない状況である。	家庭での学習が重要であることを、地域全体で再認識し、できる限りの支援を行いたい。		
・地域人材を活用して伝統文化体験(着付け教室・ゆかた登校・和食調理体験・茶道体験)が充実して行われた。	・地域にある事業所に協力してもらい、職場を訪問して本物にふれる機会を充実させる。		
・いじめの問題や不登校の課題の解決のために、生徒の様子を細かく観察し、心に寄り添った指導により力を注ぐ必要がある。	・不登校生徒が多いことを重要課題と捉え、保護者や関係機関の協力のもと、個に応じた学びの支援を強化していく。		
・自転車の運転マナーの徹底や、登下校時の挨拶が十分できていなかった。	・警察等とも連携をとりながら安全指導を徹底していく。また学校内外を問わず挨拶を通じた良好な人付き合いができる指導を		
健康維持に対しての意識が不十分のためLINE等の利用時間が長くなり、睡眠時間等への悪影響が解消できていない。	ケータイ・スマホの利用の仕方について、継続して指導を進めるとともに、健康維持に対する意識が高まる指導を進める。		
薬物乱用の問題は深刻な課題であり、地域・家庭に対しても啓発の重要性が増している。	生徒対象に行ってきた薬物乱用防止教室を、地域や保護者に対しても行うことを検討する。		
・自分の役割に責任感をもち、集団の中で主体的に行動する力を身につけていく必要がある。	・資質、能力の育成に重点をおき、生徒が自信をもってできる分野を広げるために、キャリア教育をより推進していく。		

## 3 総括・次年度の課題

- ・学校評価部を中心に学校評価を適切に行うことができたが学校評価について教職員全体への周知は十分ではなかった。
- ・アンケート等各種の指標の設定を適切に行い、学校評価の充実を図ることができた。
- ・学校関係者評価や自己評価をもとにした教育活動全体の検証により重点おき、効果的な行動計画の作成に役立てる。
- ・アンケート項目を見直し、目指すべき目標の達成のための指標となる評価項目を作成する。